市の責務として事業実施の確保を

責任をもってセンター運営に努力

市長

い者支援施設内で、地域活本町で計画されている障が 社会福祉法人が園部町 されると聞く。 動支援センター事業が実施

タ ける法人との関係及びセン 地活センター事業にお また、 の事業内容等はどう 市内障がい者団

市長 体など関係者との意見交換 も必要と考えるが。

が責任をもってセンター運い事業内容としたい。 市 法人に事業委託して実施す 分意見交換し、 る。障がい者団体などと十 ター事業実施要綱に基づき 市地域活動支援セン 利用しやす

営に努める。

大学連携と佛大 園部キャンパス学部 誘致の取り組みは

生というまさに学生のま よるまちづくりを掲げてい 市は大学等との連携に 本市は人口の1割が学

山下

秋則 議員

また、

また、佛大園部キャ現状は進んでいた 大学対策の担 ヤな

> 佛大との関係 協定を通じた

をより深めな

がら、

長期的

地活センターの設置が計画されている街中の民家

な課題とは思

が学部設置

学等との連携 画で掲げる大 振興計

くりはまだ道 によるまちづ

半ば。

連携

るが、



ち。

ていく。

等が実現でき

るよう努力し

がない。大学の立地は、まンパスへの学部誘致も動き 果が大きい。 属で取り組むべきと思う 当職員を置いて、 ちづくりや地域経済面で効 真剣に専



実施に向けて積極的に取り組む

駅東口周辺整備と安心安全は

応する。 分に把握し、 校並びにP 協議を行い対 の意向等

河川 改修 ·期着 Ó

早急な整備が待たれる園部駅前東□広場

たが、

市の玄関

整を踏まえ、

府の9号交差点形状調

口である駅東周

をとり、

JRとの話し合い 継続して連携

リットが生まれされ大きなメ

認識の

中で取り組んでお

が3月より実施

JR 複線化

ての安心安全な対応は。

早期改修が必要との

市長

市の定住促進モデル地区で川改修整備の早期着工と、 横田地区の園部

堆積土砂の撤去、 してお 府も十分認識 修の必要性は 早期改 対応は。 応急対応として

解消のため、

採を行っている。 爲次 議員

うえ課題解決に向けて努力 市としても水害不安の 地元と相談の

子 育て支援の 継続と充実

安心安全へ

のの

始されたが、 施しており、今後とも継続手当など独自の支援策を実 があると思うが。 して支援策を充実する必要 こども手当の支給が開 市では子育て

竹木の伐

度等を十分注視し な施策と考え、 しやす 市にとって大変重要 いまちづくりを総合 に国・ 府の 制



学

住民ボランティアは市民協働の最たるもの

川勝

財政難であるが仕組みづくりを今後検討

市長

あり保険も加入されていおいては、一定の補助金が に関する条例が制定された問 市民参加と協働の推進 維持管理されている。府に ランティアの除草作業等で 路河川においては、 現在、 市の管理する道 住民ボ るが。

が、

想定される。

対応についての仕組みづく市長。市民の意見も聞き、 い。

後の見通しは。

今年度、

調整池を設

河川等の関連施策も併せ今

いる当事業であるが、

る。

市の作業中において、

補助金や保険

池ノ内ほ場整備事業

加入等の支援が必要と考え 傷害や賠償等による事故も



川勝

もとに、

JRと橋

儀昭 議員

と、関連事業の進えた具体的計画の調査結果を踏ま

ちょく状況は。

調査結果を

関連の今後の見通しは 長年にわたり遅延して 道路 流より順次進め、府道改修連事業との調整を図り、下を行う。板野川改修は、関 は府に要望している。

早期に八木駅舎の 改築と周辺整備を

地買収に向け進め

いる。

受け、

測量調査設

住民ボランティアによる除草作業

計を終了

昨年度事業認可を

る。

八木環状線は

の協議をして

上駅や東西入口等

駅舎改築及び周辺整備

来年度から面工事に



援交付金の 現在、 事業として市民

提案型のまちづくり活動支 制度を創設、 市民と活 審査して 動

地上デジタ 大丈夫か

裕がないとある。 るデジタル放送。 トで1割の人が経済的に余 7月25日に始ま アンケー 市として

い募 かり説明していきたい 国の支援制度を





された。

条例施行の中で現在の取り組みは

実施計画の策定を進めている

市長

助け合い知恵を守って行く。そちのまちは自分 協働の推進に関 する条例が施行 市民参加と 自分た の役割として「市民参加等に参加されている。行政山においても振興会の行事 参加されていると思う。 こと、職員もあらゆる所で まれたものと理解する。 こうとの熱い思いの中で生 市民参加はもちろんの まちを元気に してい

美 る。行政としての現在の取成するよう努める」とあの強い意欲を持つ職員を育 り組み. や協働によるまちづくりへ

を進めている。また、第三開するのか実施計画の策定 者機関設置へ向けて取り どのような事業を展

上対策

集し、 んでいる。 る。

高めていくことに取り知 するとともに、また職員が大 その意識を